

## 2011 羽村市市勢要覧

2011 Hamura City Administration Manual

発行 羽村市  
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1  
Tel. 042-555-1111  
<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>  
発行日 平成23年11月（平成27年5月改訂）  
編集 企画部 広報広聴課

## 2011 羽村市市勢要覧

2011 Hamura City Administration Manual

ひと・まち・かがやく

# はむらライフ

多摩川の清流に恵まれ、花と緑に囲まれたひとまちもかがやく羽村。  
自然と都市機能が調和した快適な暮らし。それが「はむらライフ」です。





羽村市長 並木 心  
Shin Namiki  
Mayor of Hamura City

## ごあいさつ

本年、羽村市は市制を施行して20周年の節目の年を迎えました。

特に平成14年度からの10年間は、市の基本方針である「第四次長期総合計画」を策定し、将来像である「～ひとに心 まちに風～ いきいき生活・しあわせ実感都市はむら」の実現に向けて、鋭意、取り組んでまいりました。

そして、現在、平成24年度から始まる向こう10か年の新しいまちづくり計画「第五次羽村市長期総合計画」の策定を進めているところです。

羽村市は多摩川の清流や武蔵野の緑に抱かれた自然と産業が調和した暮らしやすい都市です。江戸の町に飲み水を供給するために開削された玉川上水は350余年の歴史を持ち、江戸とのつながりの中で先人たちの進取の気性が育まれ、たゆまぬ努力を積み重ねた結果、時代に合った産業の改革をもたらし、現在のまちの発展につながっています。

羽村市を取り巻く現下の社会情勢は、長引く景気の低迷、円高の影響や高い失業率、さらに東日本大震災など、社会全般にわたり憂慮すべき状況が山積しております。

このような中、羽村市は、市民の皆様と協働してまちづくりを進め、市民誰もが将来に夢と希望が持てるまちの実現のために、これからも力強く歩んでまいります。

ここに、市制施行20周年を記念し、20年のあゆみと、20年目の羽村市の姿をまとめた市勢要覧を刊行しました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

平成 23 年 11 月

### Message

This year marks the twentieth anniversary of the establishment of Hamura City. Over the past ten years, starting from fiscal 2002, we have devoted ourselves to realizing our future vision—“Warm-hearted People, Airy Streets—Active, Happy City of Hamura”—by drawing up a basic city policy, the Fourth Long-term Comprehensive Development Plan. Currently, we have been working on formulating the Fifth Long-term Comprehensive Development Plan for Hamura City, a new ten-year community-building program starting from fiscal 2012.

Enjoying a good relationship between industry and nature, including the limpid stream of the Tamagawa and the verdant Musashino area, Hamura is a good place to live. Tamagawa-josui was excavated over 350 years ago in order to provide drinking water for the townspeople of the Edo period. Our ancestors nurtured a progressive spirit through links among the Edo period towns, and their persistent efforts brought about industrial reforms in line with the times, which have led to the current prosperity of the city.

The social situation surrounding Hamura is extremely harsh now, with lots of disturbing factors that involve society as a whole, such as the prolonged economic slump, the effects of the strong yen, a high unemployment rate, and the 2011 Great East Japan Earthquake.

Under these circumstances, we are determined to promote community-building through coordination with citizens and move ahead in an effort to realize a city in which everyone can dream and hope for the future.

In commemoration of the twentieth anniversary of the city's establishment, we have recently published a city administration manual featuring Hamura's twenty-year history as well as its current conditions. I would be very grateful if you would take a copy and look through the manual.

Shin Namiki Mayor of Hamura City  
November 2011

## 2011 羽村市市勢要覧

ひと・まち・かがやく

# はむらライフ

### CONTENTS

#### 02 羽村のプロローグ

ひと・まち・かがやく

#### 04 はむらライフ

04 ささえあう、市民の元気。福祉・健康

06 はぐくむ、明日への夢。生涯学習

08 うけつぐ、豊かな自然。環境・安全

10 うるおう、毎日の暮らし。都市整備・住環境

12 にぎわう、街の声。産業・観光

14 つながる、熱い思い。協働・市民活動

#### 16 羽村歳時記

HAMURA DIGEST

#### 18 歩く・知る・和む

HAMURA DIGEST

#### 20 見る・憩う・遊ぶ

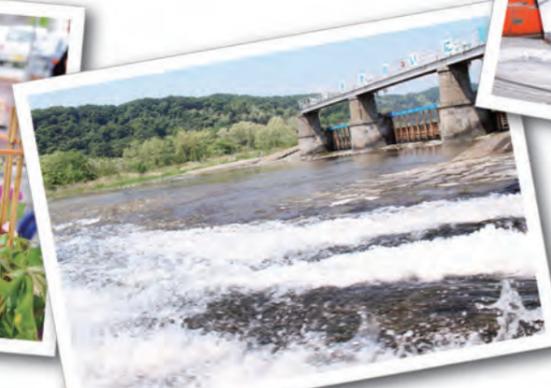
#### 22 羽村市のあゆみ

#### 30 議会・行政

#### 32 羽村市民憲章／羽村市のプロフィール



撮影協力：株式会社 原工業所



# 羽村のプロローグ



Following the excavation of the Tamagawa-josui waterway in 1653, Hamura began to perk up. In 1889, Hamura, Gonokami-mura, and Kawasaki-mura were merged to create Nishitama-mura, the predecessor of Hamura City. In 1956, Nishitama-mura was established as a town, renamed Hamura-cho. Since the establishment of the city administration in 1991, it has committed itself to strengthening its foundation as a self-sustaining city. Today, 20 years after the establishment of the city, it remains dedicated in its efforts toward a more livable and active community. Hamura will continue to create a mature community in which everyone can live a full life, enjoying a sense of safety and energy created through daily life.

## 羽村発展の歴史

羽村は、承応2年(1653年)に玉川上水が開削され活況を呈するようになりました。明治22年に羽村、五ノ神村、川崎村が合併し、現在の羽村市の前身「西多摩村」が誕生。明治末期から昭和初期に養蚕業でその名を全国に高めました。昭和31年の町制施行で羽村町となり、土地区画整理事業等を推進し、純農村であったまちは、職住近接の近代都市へと発展を遂げました。平成3年に市制を施行し、現在の「羽村市」が誕生しています。



駅からバスに乗る通勤の様子

## 市制施行を契機にさらなる発展

福祉や教育をはじめ、市制施行を契機として新たに担うこととなった役割を着実に果たし、自立した都市としての基盤を着実に築いてきました。平成14年にスタートした第四次長期総合計画では、「～ひとに心 まちに風～ いきいき生活・しあわせ実感都市はむら」を将来像に据え、「自立と連携」を基本理念に、いきいきと健やかに暮らせるまちづくりを進めました。平成23年には市制施行20周年を迎え、市民との連携を強めながら、より住みやすい活力あるまちづくりに力を注いでいます。



開市式



養蚕の様子



動物公園開園



羽村駅ホームと市制施行の旗



市制施行10周年記念式典



羽村町制施行記念式典



市街地開発工事

## そして今、 成熟した都市として

20年という歳月を人に例えれば、成人として新たな一歩を踏み出す年齢にあたります。市民の皆さんと歩んできたこれまでの道のりを振り返り、ともに育んできた時間に思いを巡らせると、そこには、市民・事業者・行政が自立し、それぞれの責任と役割を担い、相互に連携してきた歴史があります。そこに暮らす人々が輝き、みんなでつくる安心と活力のまちの実現に向けて、成熟した都市としてさらなる飛躍を羽村市は目指していきます。



# ささえあう、 市民の元気。

小さな子どもから高齢者の方々まで、だれもがいきいきと元気に生活していけるよう、安心して暮らせる支え合いのまちを目指しています。

保育園

高齢者や障害者をはじめ、全ての市民が心身ともに健やかに暮らせるよう、市民、事業者、ボランティア等と連携し、地域で助け合い、支え合う福祉のまちづくりを推進しています。また、保育所や学童クラブの充実と子育て支援を推進し、安心して子どもを育てることができる環境づくりに努めています。

市民がいきいきと生活していけるよう、市内医療機関との連携による健診体制の充実を図るとともに、地域の中核的な病院として、近隣市町と共同で公立福生病院を運営しています。

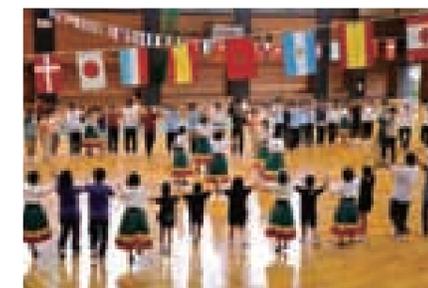


水泳教室（羽村市スイミングセンター）

Hamura is working on enhancement of welfare and health in the hope that all citizens, including elderly people, people with disabilities, small children, and their families can live a healthy life both mentally and physically. As the city promotes community-wide development based on mutual cooperation among the citizens, many people are enjoying activities and events such as Hamura Health Day and the Health Fair.



はむら健康の日



障害者スポーツ・レクリエーションの集い



乳幼児健康診断（保健センター）



公立福生病院



福祉センター

# はぐくむ、明日への夢。

もっと豊かに、伸びやかに。羽村市では、幼児教育、学校教育、青少年育成などを推進し、生涯を通じて学び育つまちづくりに努めています。



ゆとりぎ（大ホール）／撮影協力：コールせせらぎ

小中一貫教育や特別支援教育の推進、特色ある学校づくりなど、未来の羽村市を担う豊かな人間性を育む教育に取り組んでいます。また、大小のホールを備えた生涯学習センターゆとりぎは、生涯学習の拠点として、学習・文化活動や芸術鑑賞事業などを実施し、市民文化の向上に努めています。

さらに、スポーツ・レクリエーションの振興や歴史・文化の保護・継承など、生涯を通じて学び育つまちづくりを進めています。



ゆとりぎ講座風景



郷土博物館

Hamura is putting effort into education that cultivates rich humanity for the future city and the sound upbringing of juveniles. It is also facilitating environmental arrangements and the establishment of a system for lifelong education. A lifelong education center called Yutorogi offers a variety of study courses and cultural lessons as well as special showings and exhibitions.



小中一貫教育授業風景



図書館



文化祭



駅伝大会



市民体育祭

# うけつぐ、 豊かな自然。

水と緑に恵まれた、羽村の豊かな自然資源を次世代に残していくため、市民と市が協働して環境にやさしい安全安心のまちを目指しています。



羽村堰

Conservation of the natural environment and the urban environment along with creation of a recycling-oriented society — Hamura is conducting a wide range of activities that enable citizens to live without worries and pass down its beautiful natural surroundings to the next generation. Furthermore, it is trying hard to create a disaster-resistant community as well as a traffic accident-free community, and is also advancing the enhancement of anticrime measures through cooperation between citizens and the administration.



環境教室（水辺観察会）



リサイクルセンター



交通安全推進委員会出動式



総合防災訓練



消防団ポンプ操法審査会

# うるおう、 毎日の暮らし。

市民が誇りを持てる美しく快適な住みよいまちをつくるため、  
都市景観、土地利用、市街地整備、道路、施設、交通、公園、上下水道などの改善に取り組んでいます。



街並み

市民が暮らしやすさを実感できるよう、安全性、利便性、快適性をまちづくりの基本に置き、道路や公園、上下水道などの都市基盤整備を図ってきました。市街化区域の65.6%で区画整理事業が完了し、現在、羽村駅西口土地区画整理事業を進めています。

水道事業では、豊富で良質な地下水源をもとに独自の水道経営を進め、安全でおいしい水の供給に努めています。また、市民の足としてのコミュニティバスはむらんの運行や高齢社会に適応した公共エリアのバリアフリー対策にも取り組んでいます。



コミュニティバスはむらん

For a comfortable living environment, Hamura is promoting public water supply and drainage operations by establishing a water-quality management system for a sustainable supply of safe and high-quality water as well as striving to eliminate undeveloped sewage-treatment areas at an early date. It is also tackling upgrading transportation infrastructure and barrier-free policies in public places to adjust to an aging society.



都市計画道路（3・4・16号線アンダーパス）



水道事務所



バリアフリー道路



羽村駅西口



# にぎわう、 街の声。

暮らす人、働く人、訪れる人を元気にする羽村であるために、  
産業支援と消費生活の充実に取り組み、活力に満ちたにぎわいのあるまちを実現します。

撮影協力：日野自動車株式会社

活気あふれるまちづくりのため、市では中小企業振興資金融資や工場誘致など、さまざまな産業活性化のための支援を行っています。市内の産業を広く紹介する「産業祭」や、農業者と商業者が合同で行う「活力市」などを実施しています。

また、「水」と「花」をテーマに、豊かな四季にあわせた観光事業の活性化に努めるとともに、市外から広く集客できるイベントの開催などにも取り組んでいます。



はむら夏まつり

In a bid to create a vigorous community, Hamura is providing support for the vitalization of diverse industries. Efforts include the Industry Fair, which introduces the city's industries far and wide, and the Vitality Fair (Katsuryoku-ichi), held by farmers and merchants. The city is also endeavoring to revitalize tourism through every season under the themes of "water" and "flowers."



農産物直売所



活力市（あさがお・ほおずき市）



羽村市産業祭



商店街



撮影協力：杉並電機株式会社



## つながる、 熱い思い。

羽村市長期総合計画の基本構想を推し進めていくため、いつでも市民の声に耳を傾け、また市民ボランティアの方々と力を合わせ、まちづくりを行っています。

町内会対抗による少年少女球技大会

Community-building requires a cooperation of labor among citizens, businesspeople, and city authorities who have common beliefs. Hamura not only encourages citizens to join community-building on their own but also holds events that promote exchange and friendship among citizens.



市民による花植え



市民活動センター



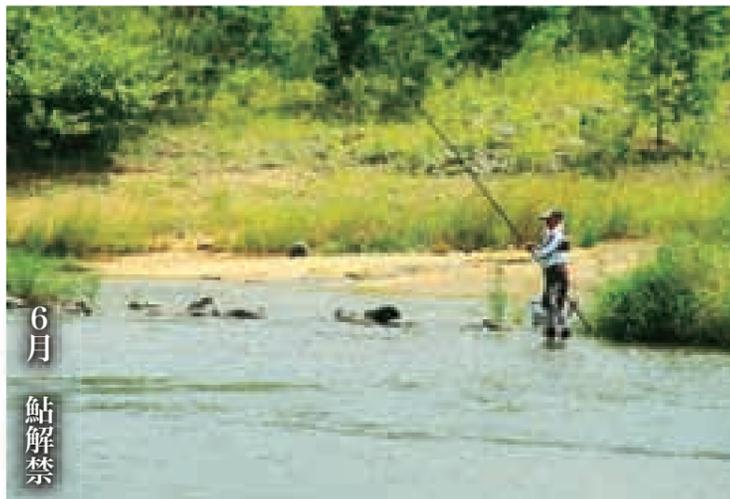
姉妹都市：北杜市



テレビはむら



山梨県北杜市清里にある自然休暇村



Spring  
春

# Four Seasons of Hamura 羽村 歳時記

羽村には、心に潤いを与えてくれる多彩な伝統行事や祭りがあります。にぎわいや人と人とのふれあいを肌で感じながら、春夏秋冬の移ろいを楽しんでください。

Hamura boasts colorful traditional events and festivals that enrich people's hearts. Enjoy the changes of the four seasons by directly experiencing the liveliness and mix of people that live here.

Summer  
夏

Autumn  
秋



Winter  
冬



# 歩く・知る・和む

羽村は、時を超えて豊かな歴史と共存するまちです。古き時代の面影に魅せられつつ歩けば、自然とタイムスリップ。いつもとは違う表情の羽村を満喫できるでしょう。

多摩川



## 一峰院 鐘楼門

一峰院は市内唯一の水田地帯の前に建つ古刹で、鐘楼門は江戸時代末期の建立。楼上の鐘は大雨などで玉川上水に被害があった際に緊急呼び出し時に鳴らされました。

知る



## 玉川兄弟像

羽村堰近くに、玉川上水を開削した庄右衛門・清右衛門の玉川兄弟像があります。昭和33年に功績をたたえて建てられました。

## 玉川上水 桜

玉川上水の流れに沿って、約200本の見事な桜並木が続きます。お花見シーズンには多くの人々が賑わいます。



## 羽村陣屋跡

江戸時代、幕府が上水管理のために設けた陣屋跡です。今も茅葺きの門が残っています。隣り合う玉川水神社は上水の守護神です。



## 旧下田家住宅

郷土博物館の敷地内にある旧下田家住宅は農家の母屋として江戸期に建築されたもので、国指定重要有形民俗文化財です。

和む



## 郷土博物館

羽村と切っても切り離せない多摩川、玉川上水などの歴史を中心に、さまざまな羽村の文化に関する貴重な資料を展示しています。

青梅線



## まいまいず井戸

五ノ神社内にあるカケツムリの形をした都指定史跡の井戸です。垂直に掘る技術がなかった鎌倉時代の開削といわれています。

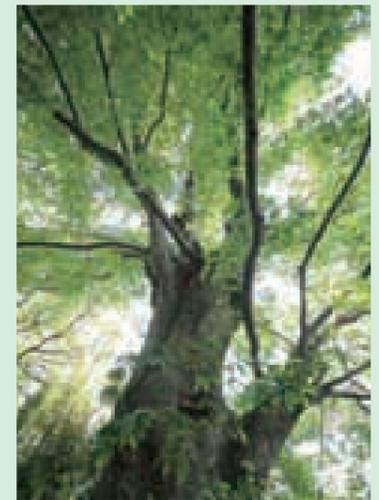


## 阿蘇神社

多摩川左岸崖上の阿蘇神社は市内で最も古い神社です。社殿横に茂る椎の木は樹齢800年以上の名木で、都指定天然記念物です。



## 椎の木 (阿蘇神社)



## 羽村橋の大ケヤキ

玉川上水羽村橋脇にそびえる樹齢800年以上、幹周約5.5mの大樹です。地面をつかむように根がはり、湧水が成長を助けています。

歩く

# 見る・憩う・遊ぶ

四季の移ろいを堪能しながら、  
こころと体いっばいに自然を感じながら暮らす。  
それが羽村に生きるしあわせです。  
知らなかった羽村との出会いを  
存分に楽しんでください。



## 水上公園

多摩川沿いの施設で、全長45メートルのウォータースライダーや流れるプール、滝のプールなど魅力いっぱい。シーズンオフも親水公園として楽しむことができます。

遊ぶ



## 動物公園

自然林に包まれたアットホームさが魅力の動物公園です。サバンナ園では、キリンやダチョウ、シマウマなど個性豊かな動物に出会えます。



ペットボトル水 水はむら



## 生涯学習センターゆとろぎ

羽村市の学習・文化・芸術活動のための施設です。大ホール、小ホール、ギャラリーなどがあり、音楽、舞踊などの公演が開催されています。



ギャラリー



## 大賀ハス

約2,000年前のハスの実から咲いたといわれる古代ハスです。「根がらみ前水田」では、夏になると大輪の花を咲かせます。

見る



農産物直売所

## 中車水車

根がらみ前水田に多摩川の水を引き込む羽用水。その羽用水の流れを使って大きく回っているのがこの中車水車です。水車の回る音と水音を聞いているととても安らぎます。



清酒 羽衣の堰

## 羽村取水堰 (2014年選奨土木遺産認定)

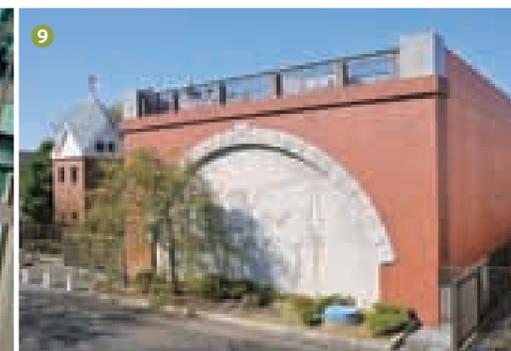
多摩川の水の多くが羽村の堰で玉川上水へ流れます。「投げ渡し堰」の構造は、江戸時代から変わらず現在に至っています。



憩う

# 羽村市のあゆみ

Steps of Hamura City 1991-1996



## 1991年

平成3年

### 11月 羽村市制施行

- 市制祝賀「5万人光のパレード」など各種イベント開催 ① ②
- 「中里介山の碑」建立
- 大字川崎、松原町地区の住居表示を実施、新町名を「双葉町」とする

12月 ■牛乳パックの店頭回収開始

## 1992年

平成4年

3月 ■第三次羽村市長期総合計画を策定

4月 ■一般会計当初予算173億8000万円

- 「乳児育成手当」制度開始
- 第1回同期市サミット開催

5月 ■高齢者在宅サービスセンター「いこいの里」開所

- 西児童館(コンピューター館)開館
- 福生消防署羽村出張所に救急車が配置される

6月 ■天竺運動公園完成

- 動物公園にラクダがお目見え
- 市民オーケストラ「羽村フィルハーモニー管弦楽団」初演奏会開催

8月 ■市役所が毎週土曜日休みとなる

9月 ■第1回「シルバーはむらふれあい祭」が  
シルバー人材センターで開催される

10月 ■第1回「羽村市健康フェア」開催

- 郵便番号が「190-11」から「205」になる

11月 ■水道事務所および配水塔が完成 ③

- 「羽村駅西口地区の整備に関する懇談会」開催

## 1993年

平成5年

1月 ■「羽村市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」を制定(4月施行)

- 羽村駅西口地区まちづくり委員会が発足
- 羽村市地域福祉計画答申される

3月 ■新奥多摩街道(福生都市計画道路3・4・5号線)羽村区間開通

- 羽村市女性行動計画策定

4月 ■一般会計当初予算186億6000万円

- 市長に井上篤太郎氏が再選される
- 増築した市役所新庁舎(東棟)で業務開始
- 多摩東京移管100周年を記念して「TAMAらいふ21」のイベントが開催される ④
- 水田のチューリップや桜などを観賞する  
第1回「フラワーフェスティバル」開催

5月 ■国際交流協会設立

6月 ■小作駅西口にシンボルツリーくすの木植樹

10月 ■ケーブルテレビで「テレビはむら」放映開始 ⑤

- 農産物直売所営業開始

11月 ■小作台土地区画整理事業完了(面積65.92ha、総事業費96億円)

- 小作台地区の町名・地番を変更(小作台1~5丁目)



## 1994年

平成6年

1月 ■乳幼児(3歳未満)医療費助成制度開始

2月 ■羽村第二中学校講堂完成

- 3月 ■羽村市地域福祉計画策定
- 小作台土地区画整理事業完了を記念し、  
小作駅西口に竣工記念モニュメント設置 ⑥
- 花と緑の事業団設立10周年を迎える
- 羽村市生涯学習推進基本計画策定

4月 ■一般会計当初予算176億7500万円

- 庁内に行政改革推進本部を設置
- 主任児童委員制度開始
- ペットボトルのリサイクル収集始まる
- 富士見高齢者住宅完成

5月 ■羽村駅西口地区まちづくり委員会が土地区画整理事業による  
都市基盤整備を答申

6月 ■東京都福生保健所羽村保健相談所開設

- フロンガスの回収を開始

9月 ■多摩川上流雨水幹線建設工事開始

- 「羽村市行政財政緊急対策実施計画」を策定



## 1995年

平成7年

1月 ■兵庫県南部地震(後に阪神・淡路大震災)救援募金の受付を始める

2月 ■阪神・淡路大震災復旧支援に市職員3名とダンプトラック1台を派遣

3月 ■都宮神明台三丁目アパート完成

- 4月 ■一般会計当初予算188億9800万円
- ペットボトルと発泡スチロールトレイの分別回収を開始
- 月1回の「学校週5日制」が月2回に
- 市議会議員選挙執行

6月 ■動物公園入園者500万人達成 ⑦

7月 ■「羽村駅西口地区基盤整備基本計画原案」に関して羽村駅西口  
地区まちづくり委員会による地元説明会開催、原案承認される

8月 ■車いす利用者のためのリフト付自動車運行開始

- 戦後50周年記念式典・羽村市平和都市を宣言

10月 ■富士見斎場の運営を(株)コナモレー(ラメント富士見)に委託

- いこいの里に「高齢者在宅介護支援センター」を開設
- 通称「大正土手」の「一本杉」養生工事を実施

## 1996年

平成8年

3月 ■羽村市行政改革審議会が「羽村市行政改革大綱」を答申

- 4月 ■一般会計当初予算200億3500万円
- 羽村市行政手続条例を制定
- リサイクルセンター稼働、ごみ収集日、収集回数を変更 ⑧

5月 ■浄水場と工業用水道配水場が完成 ⑨

- 6月 ■用途地域制度と地区計画区域を改正
- 羽村駅西口土地区画整理事業都市計画案公告、縦覧

7月 ■水上公園改築オープン

- 10月 ■山梨県高根町と姉妹都市提携
- 社会福祉協議会で有償家事援助サービスを開始

11月 ■長期総合計画審議会が長期総合計画後期基本計画について答申

12月 ■行政改革大綱実施計画を策定



# 1997年

## 平成9年

- 3月 ■第三次羽村市長期総合計画後期基本計画(平成9～13年度)を策定
  - 情報公開懇話会から「羽村市の情報公開制度について」提言
  - 自然休暇村「清里」宿泊者15万人を突破
  - 小作駅東口エスカレーターが稼動
  - 郷土博物館の展示替工事完了
  - 川崎公園完成
- 4月 ■一般会計当初予算200億9000万円
  - 小作駅東口ペDESTリアンデッキ完成 ①
  - 地域保健法等の改正により、母子保健等の事務が東京都から市に移管される
  - 東京都福祉保健所羽村保健相談所が東京都から市に譲渡される
  - 市長に井上篤太郎氏が3選される
- 10月 ■「羽村市情報公開条例」を公布(平成10年4月施行)
- 11月 ■地方自治法施行50周年記念式典開催
  - 男女共同参画都市を宣言 ②

- 10月 ■「テレビはむら」5周年を迎える
- 「羽村市ホームページ」を開設
- 11月 ■女性模擬議会を開催

# 1999年

## 平成11年

- 2月 ■印鑑登録カードを環境にやさしい素材に
- 3月 ■地域振興券を交付
  - 第2次羽村市生涯学習推進基本計画策定
- 4月 ■一般会計当初予算185億2000万円
  - 新保健センター開所 ④
  - 福祉センター開所 ⑤
  - 女性消防団員誕生
  - 小作立体交差開通
  - 市議会議員選挙執行
- 5月 ■自然休暇村開設10周年を迎える
- 6月 ■市役所で環境マネジメントシステムISO14001認証取得のための取り組みを開始
  - 福祉施策審議会が答申
  - 動物公園入園者600万人達成
  - 動物公園のビーバーに赤ちゃん誕生
- 7月 ■第四次羽村市長期総合計画審議会委員を市民公募
  - 環境基本計画策定に向けた市民会議設置
  - 羽村市図書館(生涯学習施設東棟)建設工事着手
  - はむら夏まつりに「参場踊り」が登場 ⑥
- 8月 ■精神障害者小規模作業所「スマイル工房」開所
- 9月 ■踊子草公園を整備
  - 小作台第二学童クラブ開所
  - 廃棄物減量等推進会議がごみ分別答申
- 10月 ■要介護認定申請の受付始まる
- 12月 ■羽村市男女共同参画推進会議設置
  - 福祉センターに喫茶「いちよう」オープン

# 1998年

## 平成10年

- 1月 ■ダイオキシン類調査実施
- 3月 ■戸籍事務のコンピューター処理稼動
  - 羽村駅西口土地区画整理事業施行区域が決定(東京都告示)
- 4月 ■一般会計当初予算200億5000万円
  - 西多摩衛生組合新ごみ処理施設稼動
  - 情報公開制度開始
  - 教育相談室・学校適応指導教室開室(羽東二丁目)
- 5月 ■動物公園開園20周年を迎える
  - 市役所1階に「市政情報コーナー」を設置
- 7月 ■東児童館(アドベンチャー館)開館 ③
  - 介護保険実施のための「高齢者生活実態調査」を実施
- 9月 ■新しい小作駅前交番が完成

# 2000年

## 平成12年

- 1月 ■玉川上水「羽村の堰」の切手発売
  - 第四次羽村市長期総合計画審議会設置
  - 動物公園のシマウマに赤ちゃん誕生
- 3月 ■すべての公園からごみ箱を撤去
  - バランスシート(貸借対照表)作成
  - 動物公園ポニー乗馬コーナー営業終了
  - 「羽村市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」を策定
  - 一般会計当初予算184億8000万円
  - 在宅介護支援センター・子ども家庭支援センター設置
  - 介護保険制度始まる ⑦
  - 羽村市環境方針制定
  - 地方分権で、国・都の委託事務が市の事務になる
  - 福生病院組合設立
  - 小作立体交差上の自転車駐車場使用開始
- 5月 ■羽村市・羽村市商工会・企業経営者連絡会が開かれる
  - 自然休暇村宿泊者20万人達成
  - 中央児童館のプラネタリウムが星空ひろばとしてリニューアルオープン
- 6月 ■生涯学習まちづくり出前講座開始
  - 環境基本計画市民計画案が提出される
  - 長期総合計画コミュニティ懇談会を実施
  - 圏央道多摩川橋で最後のボルトが締められ、橋がつながる
- 7月 ■東京都羽村勤労福祉会館が市に移管される
  - 男女共同参画審議会が提言書提出
  - 普通交付税の交付団体となる
- 8月 ■市役所が環境マネジメントシステムISO14001認証取得
- 9月 ■災害相互応援協定団体(愛知県西枇杷島町、新川町)へ災害支援
- 10月 ■容器包装プラスチックと雑紙の分別収集始まる
  - 新羽村郵便局開局
- 12月 ■都市計画審議会委員を市民公募



# 2001年

## 平成13年

- 2月 ■図書館で、2001冊本のリレー
  - 羽ヶ上土地区画整理事業完了(面積19.29ha、総事業費67億2000万円) ⑧
  - 羽ヶ上地区の町名・地番を変更(羽加美1丁目)
  - 羽ヶ上公園に竣工記念碑設置
- 3月 ■新しい図書館開館
  - 産業福祉センターWing "i" 開館
  - 羽村駅・小作駅にエスカレーター、エレベーター設置
  - 市役所に証明書自動交付機設置
  - 羽村市環境基本計画策定
- 4月 ■一般会計当初予算182億7000万円
  - 動物公園にタンチョウが仲間入り
  - 新しい松林学童クラブ開所
  - 公立福生病院スタート
  - 家電4品目(冷蔵庫・洗濯機・テレビ・エアコン)のリサイクル開始
  - 社会福祉協議会で移送サービス事業開始
  - 井上篤太郎市長が退任される
  - 新しい市長に並木心氏が当選される
- 6月 ■羽村市環境行動計画策定
  - 第1回はむら活力市を開催
- 7月 ■市民サービス向上(P-SU)作戦実施
  - はむら夏まつり会場が羽村駅東口になる
  - 渋谷区と災害相互応援協定を締結
- 8月 ■市長とトーク(タウンミーティング)実施
- 10月 ■「フレッシュランド西多摩」オープン
  - ふるさとまつり開催
  - 第四次羽村市長期総合計画審議会が答申
  - 廃棄物減量等推進会議が家庭ごみの個別収集・一部有料化答申
- 11月 ■市制施行10周年 記念式典挙行 ⑨
  - 市内に認証保育所がオープン
- 12月 ■羽村市環境基本条例制定(平成14年4月1日施行)



# 2002年

## 平成14年

- 1月 ■市民サービス向上(P-SU)作戦第2弾実施
- 2月 ■「中学生議会」を開催
- 3月 ■第四次羽村市長期総合計画を策定
  - 第三次羽村市行政改革大綱を策定
  - 新しい農産物直売所がオープン ①
  - ICカードによる行政サービスの実証実験開始
- 4月 ■一般会計当初予算190億5500万円
  - 戸籍証明書の広域交付を開始
  - 羽村市環境審議会を設置
  - 羽村第二中学校・第三中学校で二学期制を実施
- 5月 ■子ども家庭支援センターが市役所分庁舎へ移転
- 6月 ■動物公園でトナカイの赤ちゃん誕生
- 8月 ■住民基本台帳ネットワークシステムが一部稼働
  - 動物公園の園長を全国から公募
- 10月 ■ごみの戸別収集・一部有料化
  - 西多摩地域の図書館が相互に広域利用可能になる
  - 瑞穂斎場が新施設での業務を開始

- 5月 ■生涯学習施設建設のため、公民館を閉館する
- 7月 ■国の制度改正の影響により普通交付税不交付団体となる
- 8月 ■玉川上水が国の史跡に指定される
  - 住民基本台帳ネットワークシステム第二次サービススタート
  - 住民基本台帳カードの交付を開始
- 9月 ■第1回風のおわら開催 ③
  - 羽村市総合公共交通システム懇話会が発足
- 10月 ■羽村市個人情報保護条例施行
  - 家庭の使用済みパソコンの回収・リサイクルが始まる
- 11月 ■玉川上水開削350周年を記念してシンポジウムを開催
  - 建設中の生涯学習施設西棟の防護壁に市民の手による絵が描かれる
- 12月 ■羽村駅および小作駅周辺を対象に市民生活安全パトロールを実施

# 2004年

## 平成16年

- 1月 ■羽村市体育協会がNPO法人の認証を取得
- 2月 ■高度浄水施設が完成し、より良質な水道水が供給される ④
  - 都立羽村高校と「学校外の学修」協定を締結
- 3月 ■住民基本台帳カードを利用した公的個人認証サービス始まる
  - 羽村市中心市街地活性化基本計画を策定
  - 羽村市総合公共交通システム懇話会から提言が出される
  - 動物公園にレッサーパンダが仲間入り ⑤
- 4月 ■一般会計当初予算202億3000万円
  - 羽村市捨て看板防止条例施行
  - 福祉、子育てなどの市役所土・日窓口の取り扱い業務を拡大
  - 市内の全小・中学校で二学期制を導入
  - 小・中学生に防犯ブザーの貸与を開始
- 5月 ■携帯電話を使って市の情報が見られるサービスが始まる
- 7月 ■羽村市情報セキュリティポリシー運用開始
- 9月 ■根がらみ前水田チューリップオーナー制度始まる
- 10月 ■企業支援のための「企業誘致促進制度」と「技術力向上支援制度」の運用を開始
- 11月 ■姉妹都市高根町が合併により北杜市となる

# 2005年

## 平成17年

- 2月 ■ケーブルテレビを使った火災・防災等の告知情報発信を開始
  - 羽村市次世代育成支援行動計画審議会が答申
- 3月 ■動物公園にスタディオールを開設
  - 羽村市行政改革審議会が答申
  - 羽村リトルシニアが野球全国選抜大会で優勝
- 4月 ■一般会計当初予算215億1500万円
  - 羽村市弓道場オープン
  - 指定管理者制度による施設の管理運営を開始(農産物直売所・弓道場)
  - 市長に並木心氏が再選される
  - 電子申請サービスを開始
  - 市役所内に喫煙室を設置し、分煙化を図る
- 5月 ■コミュニティバス「はむらん」運行開始 ⑥
  - 生涯学習施設西棟の愛称が「ゆとろぎ」に決定
  - 羽村市文化協会が発足
- 8月 ■神奈川県南足柄市と災害時相互応援協定を締結
  - 市民参画と協働のしくみづくり懇談会から提言
- 10月 ■羽村市自然休暇村が指定管理者による管理運営になる

# 2006年

## 平成18年

- 3月 ■羽村市生涯学習センターゆとろぎ開館記念式典開催
- 4月 ■一般会計当初予算191億4000万円
  - 羽村市生涯学習センターゆとろぎ開館 ⑦
  - 羽村市スイミングセンターが指定管理者による管理運営になる
  - 西学童クラブ開所
  - 羽村市スポーツ・レクリエーション振興計画策定
  - 「農政だより」が「農業委員会だより全国コンクール」で第2位入賞
  - 福生市と共同で地域生活支援センター「ハッピーウイング」開設
- 5月 ■「はむら健康の日」事業始まる ⑧
  - コミュニティバス「はむらん」運行1周年を記念して1日無料運行実施
  - 羽村市長期総合計画審議会を設置
- 7月 ■青梅線沿線地域産業クラスター協議会設立シンポジウムがゆとろぎで開催される
  - 大学との技術提携の窓口(TAMA-TLO)が羽村に開設
  - 東京福生ロータリークラブより防犯マグネットシートの寄贈を受ける
  - 中学生版市長と語る21(タウンミーティング)が行われる
  - 羽村駅西口土地区画整理審議会から換地設計基準についての答申が出される
- 10月 ■障害者自立支援法に基づくサービスを開始
  - 羽村市長期総合計画審議会が答申
  - 羽村市環境審議会から環境基本計画の見直し及び変更に関する答申が出される
  - 羽村市廃棄物減量等推進審議会から羽村市一般廃棄物処理基本計画についての答申
  - 羽村市福祉施策審議会が答申
  - 第1回幼・保・小連携推進懇談会を開催
- 12月 ■市立保育園で年末保育を実施
  - 市内すべての小・中学校に防犯カメラが設置される





# 2007年

## 平成19年

- 3月 ■「はむらん」ルート改正で玉川町内も走るようになる
  - 羽村市国民保護計画を策定
  - 小作駅構内のエレベーターの利用開始
- 4月 ■一般会計当初予算195億円
  - 第四次羽村市長期総合計画・後期基本計画を策定
  - 羽村市男女共同参画推進条例施行
  - 羽村駅西口土地区画整理事務所を開設
  - 羽村駅西口のエレベーターの利用開始
  - 市議会議員選挙執行
- 6月 ■市ホームページにバナー広告掲載始まる
- 7月 ■新潟県中越沖地震の被災地へ飲料水などを搬送
  - 第一回高齢者虐待防止連絡会議開催
- 8月 ■動産合同公売オークションを実施
- 11月 ■羽村駅西口駅舎が完成しエスカレーター、公衆トイレが利用可能になる ①
  - ペットボトル水「水はむら」販売開始 ②
  - 防災行政無線の放送内容をメールで配信開始 ③
  - 羽村市都市計画マスタープラン審議会が答申
  - 羽村市地域福祉計画審議会が答申

# 2008年

## 平成20年

- 2月 ■羽村市観光ボランティア募集
  - 羽村市廃棄物減量等推進審議会から市民・事業者・行政が連携を図り3Rを推進するための検討会議のあり方についての答申
- 3月 ■(財)羽村ふれあい地域づくり公社が解散
  - 羽村駅構内のエレベーター、多機能トイレの利用開始
- 4月 ■一般会計当初予算200億7000万円
  - 後期高齢者医療制度がスタート
  - はむら総合型スポーツクラブはむすぼ誕生
  - 羽村市動物公園が指定管理者による管理運営になる
  - 清流町地区の公共下水道供用開始
  - フレッシュランド西多摩入館者が100万人達成
- 5月 ■第1回「羽衣の堰」歌謡コンテストが行われる
- 6月 ■コミュニティセンター2階に市民活動・ボランティアセンターはむら開設
  - 岩手・宮城内陸地震義援金の受付を開始
- 8月 ■羽村市農業団体協議会と「災害時における農産物等の供給及び農地の使用に関する協定」を締結
- 9月 ■羽村市障害者就労支援センター「エール」開設
- 10月 ■公立福生病院新病院第1期オープン
- 12月 ■羽村市障害者計画及び障害福祉計画審議会が答申
  - 羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会が答申

# 2009年

## 平成21年

- 1月 ■緊急雇用対策として羽村市臨時職員を雇用
- 2月 ■生涯学習フォーラム開催
- 3月 ■羽村にぎわい商品券の販売を開始 ④
  - 市長に並木心氏が3選される

- 4月 ■一般会計当初予算191億2000万円
  - 都市計画道路3・4・16号線立体交差(羽加美栄立体交差)の開通 ⑤
  - 羽村市防犯、交通安全及び火災予防に関する条例施行
  - 羽村市高齢者福祉計画及び第4期介護保険事業計画策定
- 5月 ■「広報はむら」記事の内容をリニューアル
- 10月 ■地域包括支援センターが特別養護老人ホーム羽村園内に設置され2か所で運営される
- 12月 ■社会福祉法人そよかぜ「ひばり園」移転開園

- 12月 ■はむらん新型車両に入れ替え
  - 羽村市事業仕分けを実施
  - 羽村駅西口駅前周辺街区 道路など築造工事を開始

# 2010年

## 平成22年

- 1月 ■はむらん車内に有料広告掲載開始
- 2月 ■羽村市準工業地域及び工業地域における地区計画審議会が答申
  - 公立福生病院新病院フルオープン
- 3月 ■新メール配信サービスの運用を開始
  - はむら市民懇談会から提言
  - 羽村市次世代育成支援行動計画の策定
  - 羽村市水道ビジョンの策定
  - 羽村市下水道総合計画の策定
  - 羽村市社会教育委員の会議が答申
- 4月 ■一般会計当初予算200億7000万円
  - 新電子申請サービスを開始し携帯電話による受付などが可能に
  - 生涯学習と市民活動のネットワーク紙「ひろば」創刊
  - 子ども手当の受付始まる
- 5月 ■小作駅東口に市民パトロールセンター開設 ⑥
- 6月 ■羽村市動物公園駐車場有料化
  - 羽村市長期総合計画審議会設置
  - 羽村市と杏林大学との連携に関する協定の締結 ⑦
- 8月 ■公共施設内の喫煙室を一部廃止
  - 子ども議会の開催
- 10月 ■「はむらん」ルート改正で双葉町三丁目へ延伸
  - 「自転車等の放置防止に関する条例」の改正により、処分自転車売却可能に
  - 市役所にあかちゃん休憩室設置
  - 国体羽村市実行委員会がスタート

# 2011年

## 平成23年

- 2月 ■水道事業50周年記念式典・記念事業開催 ⑧
- 3月 ■東日本大震災被災者への義援金を受付
  - 東日本大震災被災地支援として、支援物資を搬送
  - 東日本大震災の影響に伴う計画停電により、公共施設の休館を実施
- 4月 ■一般会計当初予算205億6000万円
  - 羽村第三中学校区で小中一貫教育を実施
  - 東日本大震災の影響により、「はむら花と水のまつり」開催中止となる
  - 市民活動・ボランティアセンターの機能を引き継ぎ、市民活動センターとして市直営の運営となる
  - 「広報はむら」で有料広告掲載始まる
  - 市議会議員選挙執行
- 5月 ■東日本大震災被災地に市職員を派遣
  - 被災地から避難している人に対し「はむらサポートカード」を発行し、支援サービスを行う
  - 「ひろば」から引継いだコミュニティ情報紙「きずな」を創刊
  - 羽村駅西口に市民パトロールセンター開設
- 6月 ■羽村市の水道水の放射能測定を始める
- 7月 ■市独自に放射線量の測定を開始する
- 8月 ■第五次羽村市長期総合計画審議会が答申
- 10月 ■市制施行20周年 記念式典挙行





# 議会

羽村市議会は、市民に選ばれた18人の議員で構成されています。年4回の定例会と必要に応じて開催される臨時会で、行政運営の重要事項の審議、議決を行います。市民福祉の向上とともに、「より開かれた、わかりやすい議会」を目指し、「議会だより」の発行や議会改革などさまざまな取り組みを行っています。

平成27年5月1日現在

議員番号	氏名	党派/会派	当選回数
1	高田 和登	無所属/新しい風	1期
2	浜中 順	日本共産党/日本共産党	1期
3	印南 修太	無所属/新政会	2期
4	富松 崇	無所属/新政会	2期
5	中嶋 勝	公明党/公明党	2期
6	富永 訓正	公明党/公明党	2期
7	鈴木 拓也	日本共産党/日本共産党	3期
8	大塚あかね	民主党/民主党	3期
9	西川美佐保	公明党/公明党	3期
10	橋本 弘山	無所属/新政会	3期
11	山崎 陽一	無所属/世論	3期
12	小宮 國暉	無所属/新しい風	3期
13	馳平 耕三	民主党/民主党	4期
14	石居 尚郎	公明党/公明党	4期
15	濱中 俊男	無所属/リフレッシュ羽村	4期
16	瀧島 愛夫	無所属/新政会	4期
17	水野 義裕	無所属/羽村21	4期
18	門間 淑子	無所属/市民ネットワーク「いきいき広場」	6期



左 石居尚郎 議長 右 濱中俊男 副議長

**City Assembly**  
Hamura City Assembly consists of 18 members who are elected in municipal elections. Important matters of administrative management are deliberated and decided at regular meetings, held four times per year, and at nonregular extraordinary meetings.



市役所窓口

市民の役に立ち、信頼される行政を目指し、市では政策・施策・事務事業を体系化した長期総合計画に沿ったさまざまなサービスや施策を実施しています。また、行政運営の成果を客観的に検証し、市民の皆様への説明責任を果たすとともに、今後の行政サービス向上を目指し、多面的に行政評価を実施しています。



庁舎

# 行政

**Administration**  
The city authorities implement extensive services and policies in line with a long-term comprehensive development plan that systematizes the establishment of policies, implementation of measures, and management of clerical work. While achieving accountability to the citizens, the city aims for the improvement of future administrative services.



左から 並木心 市長 北村健 副市長 桜沢修 教育長

## 羽村市民憲章

わたくしたち市民は  
多摩川の清流に育まれた心豊かな人間性と  
花と緑に恵まれた美しいまちを誇りとします  
先人の進取の気性と英知によって築かれた  
この郷土を受け継ぎ  
さらに 温かい心のかよいあう  
活力あふれるまちづくりのために  
この市民憲章を定めます

- 1 人も自然も生きいきと息づく  
やすらぎのあるまちをつくります
- 1 郷土を愛し 自治の心を高め  
互いに 尊重しあうまちをつくります
- 1 明るく健康な家庭を築き  
働く喜びに満ちたまちをつくります
- 1 知性と文化にあふれ  
青少年がたくましく成長するまちをつくります
- 1 友愛と交流を深め  
世界の人々と心のかよいあうまちをつくります

(平成3年11月1日制定)

## 羽村市のプロフィール

羽村市は平成3年11月1日に市制を施行しました。総面積9.91平方km、都心から西へ約45kmに位置します。多摩川周辺の自然や武蔵野の面影を残す緑豊かな土地で、市民生活と都市機能がバランス良く調和しています。

Hamura was established as a city on November 1, 1991. Covering a total area of 9.91 square km, it is located about 45 km west of central Tokyo. It is a verdant place retaining the beautiful natural surroundings of the Tama River and a vestige of old Musashino, and it is a place where civic life and urban functions are well balanced.



市の木 / イチヨウ



市の花 / サクラ



市の鳥 / アオバスク

